島根県議会議員

坪内 涼二

県議会レポート VOL. 15

2021. 8

ご挨拶

７月中旬の大雨災害、台風９号、さらには８月12日からの大雨災害により、県内各地で土砂崩れや浸水被害が発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。江の川も平成30年、昨年に引き続いて氾濫し、災害が激甚化、頻発化しています。改めて国土強靭化を強力に推進していかなければならないと痛感しました。

９月９日より、９月定例会が開会となります。新型コロナウイルス感染症対策はもちろんのこと、相次ぐ災害からの復旧や災害に強い地域づくりといった島根県の抱える課題について、しっかりと議論を深めて参ります。

６月定例会後は、常任・特別委員会の県内調査で県内各地を訪れ、それぞれの自治体等の現状や様々な取り組みについて学んできました。それらも踏まえ９月定例会に挑みたいと思います。

衆議院総選挙の日程によっては、県議会日程も変更が生じる可能性があります。詳細は県議会ホームページをご確認いただければと思います。

９月定例会日程

月	火	水	木	金
9/6	7	8	9 本会議	10 全員協議会
13 （休会）	14 （休会）	15 （休会）	16 本会議	17 一般質問
20 （敬老の日）	21 一般質問	22 一般質問	23 （秋分の日）	24 一般質問
27 一問一答	28 一問一答	29 （休会）	30 常任委員会	10/1 常任委員会
4 特別委員会	5 特別委員会	6 特別委員会	7 （休会）	8 本会議

※県議会の様子は石見ケーブルビジョンで生中継が行われます。

記録的大雨により江の川が氾濫

8月13日からの大雨の影響により、江の川が氾濫し、平成30年の西日本豪雨、昨年7月の豪雨災害に引き続き約3年間で3回目の水害となりました。江津市では床上浸水2棟、床下浸水9棟の被害が確認されているほか、市内各地で道路や田畑が冠水するなど甚大な被害が発生しました。

今年度は、2度にわたる浸水被害が発生したことを受け、過去50年で最大規模となる20億円を措置し、対策を急いでいた矢先の水害で、被災者の皆様のご心労を察すると言葉もでません。県議会でも再三にわたり、江の川の治水対策を進めるよう訴えてきましたが、より迅速に治水対策が進むようこれまで以上に市や関係機関と連携しながら取り組む覚悟です。

道路・田畑が冠水（川平町）

道路が冠水（松川町下河戸）

浸水防止対策（桜江町川越）

内水被害（桜江町谷住郷）

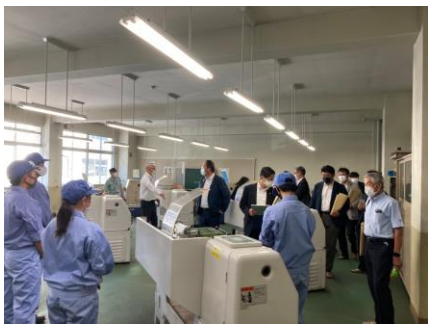
県内調査が行われました（常任・特別委員会）

■ 農林水産商工委員会（7/16）

「若者にとって魅力のある産業のあり方」を調査テーマに県内調査が行われ、真和漁業生産組合の調査に同行しました。

同組合では、若者が働きやすい職場環境づくりとして、20代の積極採用や副業を認めるといった取り組みについての説明がありました。

■ 文教厚生委員会（7/29）



「未来を担う人材を育てる高校教育のあり方」を調査テーマに県内調査が行われ、江津工業高校の調査に同行しました。

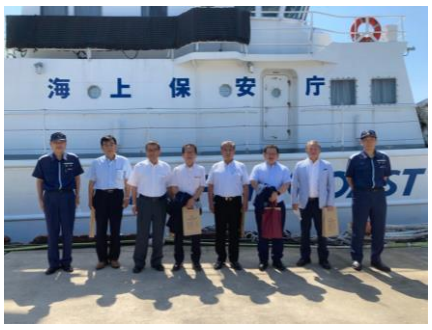
地域産業界等との連携状況や進学・就職の状況について説明を受けました。県内就職率は平成18年の24.4%から令和2年76.9%まで上昇しています。

■ 中山間地域・離島振興特別委員会（8/2～3、16～17）

島根県過疎地域持続的発展方針（素案）に対するヒアリングを県内全19市町村から行いました。

県内各地域の課題や厳しい財政状況のなかで取り組んでいる人口減少対策などについて具体的に確認することができました。

■ 総務委員会（8/4～5）



「安全安心な暮らしを守る防災・減災、防犯対策」を調査テーマに隠岐の島町を訪問。自主防災組織の取り組みや隠岐海上保安署にて巡視艇さんべの視察、隠岐の島警察署では、ドローンによる海上監視や防犯カメラでの西郷港監視体制等について調査を行いました。

６月定例会 一般質問

VOL.15では、救急医療相談体制としまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業についてご紹介します。住宅リフォーム助成事業については、質問後に助成事業の再募集が決定し、1億6,100万円、約500件分が追加されました。今後も質問を通じて、県民の皆様の声が一つでも実現されるよう取り組んで参ります。

6月県議会 一般質問の項目

1．令和２年国勢調査結果について
2．石見地域の振興について
3．救急医療相談体制について
4．住宅リフォーム助成事業について

救急医療相談体制の充実について

子ども医療電話相談（＃8000）とは？

保護者の方が休日や夜間、子どもの症状にどのように対処したらよいのか判断に迷ったとき、全国同一の短縮番号＃8000をプッシュすることにより、都道府県の相談窓口に転送され、小児科医や看護師から症状に応じた適切な対処の仕方等についてアドバイスを受けることができるもの。

子ども医療電話相談は、 全国の利用件数は年々増え、つながりにくいといった苦情が出ている地域もあるようだが、県内における子ども医療電話相談の利用状況はどうか。

健康福祉部長　県では、平成19年度から実施しており、平成27年11月からは、相談の受付終了時間を23時から翌朝9時に延長して対応している。利用件数は、事業開始から令和元年度まで毎年増加をしてきており、平成30年度は6,349件、令和元年度は7,047件の利用がありました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対する予防対策や衛生意識の高まり等から、発熱等の相談件数が減少したものの5,100件の利用があった。

なお、主な相談内容は、例年、発熱に関するものが全体の30％以上と最も多く、次いでけがや消化器に関するものとなっている。相談への対応としては、家庭でできる処置等を伝え、様子を見るよう助言した件数が毎年最も多くなっており、令和2年度は3,411件と全体の66.9％を占め、救急車を呼んだり、直ちに病院へ行くよう助言した件数を大きく上回っている。

小児科医の負担軽減、子どもを持つ親の不安を解消するためにも、子ども医療電話相談のさらなる周知が必要ではないか。

健康福祉部長　２歳未満の子どもを持つ親からの相談が多いことから、県では今後も市町村と連携し、保健師等が乳児家庭に訪問する際の啓発に力を入れていく。また、医療機関においても周知をお願いするなど、一層の普及啓発に取り組む。

救急安心センター事業（＃7119）とは？

急なけがや病気をしたときに救急車を呼んだほうがいいかなど判断に迷う場合に、専門家からアドバイスを受けられ、緊急性の有無や適切な診療科目や医療機関の案内などを行う電話相談サービス。

限りある搬送資源を緊急性の高い事案に確実に投入するため、＃7119の利用促進が必要と考えるが、島根県において救急安心センターが設立に至っていない理由と、今後の設立の可能性について伺う。

防災部長　本県における救急搬送件数は近年横ばいで、軽症者の割合も低下傾向にあり、全国平均を下回ってる状況。また、消防本部や医療機関が救急車の不適正な利用に苦慮しているという話は聞いていないこともあり、導入に至っていない。県としては、どのような効果が期待できるのか、他県の導入事例を確認するなどし、消防や救急医療関係者などと一緒に研究したい。

住宅リフォーム助成事業について

しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成事業とは？

安全で安心な住宅環境の整備を目的として、既存住宅のリフォームを対象として行われているこの事業は、主に高齢者や子育て世帯への支援として、住宅のバリアフリー化や、子育て負担を軽減するためのリフォーム工事に要する費用の一部を助成するもの。

この事業は、多くの県民に活用されているが、昨年10月中旬頃には予算が枯渇し、今年度においても、４月の受付開始以降、昨年度を大幅に上回る申込みにより予算が既になくなり、募集を打ち切らなければならない状況。コロナ禍において、感染防止対策としても役立っているものも多く、家庭内感染を防止するための住宅リフォームは効果的と考える。助成事業の追加対策が必要と考えるが、知事の所見を伺う。

丸山知事　申請内容を見ると、壁や床の抗菌の施工や水回りの自動水栓化といった家庭内での感染防止に効果的なものが多く含まれてる状況。財源面からも、コロナ対策を講じた改修の場合には新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として充てることができるので、引き続き助成が継続できるように、予算の増額を含めた検討を進めていく。

住宅リフォーム助成の追加対応が実現されました

一般質問後、切れ目なく事業を展開するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としたコロナ調整費の活用により、助成を追加実施することが決まりました。

追加予算額	１億６,１００万円　（約５００件分）
助成額（一戸あたり）	30万円かつ対象工事費の1/3以内の額
上限額の加算	・子育て世帯とその親世帯が同居・近居する場合、空き家バンク登録住宅を購入して改修する場合は10万円加算 ・一定の耐震改修を行う場合30万円加算
条件等	工事施工者が県内に本店を有すること
申込み期間	令和3年6月21日～令和4年2月15日 （令和4年3月15日までに工事完了するもの）
申込受付窓口	一般財団法人島根県建築住宅センター

具体的な改修例

- キッチン、洗面台、トイレ手洗い等の自動水栓化
- 抗ウイルス機能の内装材、設備への更新
- 玄関などへの手洗器の設置
- 換気設備の設置
- 在宅ワークや在宅学習のための居室拡張や情報環境整備

島根県議会議員　坪内涼二事務所
〒695-0011　島根県江津市江津町1520-61
TEL:0855-52-7511／FAX:0855-52-7510

活動報告など情報発信中！

ホームページ　LINE　facebook